

スポンサードシンポジウムSS02

有機化学者のための放射光利用最前線—微小単結晶・粉末試料結晶構造解析—
(SPring-8利用推進協議会 第7回有機・粉末結晶構造解析研究会)

**The Front of Synchrotron Application for Organic Chemists— Structure Determination Used
Micro Crystals and Powder
(SPring-8 7th Meeting of Organic/Powder Structure Determination Society)**

三浦 圭子¹, 柳 和則²

¹高輝度光科学研究セ, ²大日本住友製薬

大型放射光施設 SPring-8 は共用研究施設として全国の物理・化学・生物・医学など幅広い分野の研究者の方々が最新の実験を行えるように運用されています。薬学の領域においても、蛋白質結晶解析から物性測定・イメージングまで幅広く利用実績があり、昨年までの薬学会では、ドラッグデザイン・蛋白質構造解析用に汎用されている施設の一部紹介が主として行われてきました。

今回は、有機合成過程の立体構造解析から医薬品原薬・製剤分析までをカバーする X 線回折データを用いた結晶構造解析手法に的を絞り、有機化学者の方に興味を持ってもらいたくシンポジウムを企画いたしました。尚、スポンサー主催者の SPring-8 利用推進協議会は 今までに計 6 回の有機・粉末結晶構造解析研究会の活動を行い、放射光利用粉末解析の勉強会を実施してきた実績があります。

放射光の特徴である幅広い波長選択性や高輝度・高平行 X 線を活かした最近の SPring-8 利用実績については、薬学会会員から紹介してもらうことで身近に感じてもらいたいことと、最新の装置の説明は放射光施設の担当者からしてもらうことで、利用されたことの無い方でも施設の様子を把握してもらうことを念頭にしました。微小サイズの結晶・微量のサンプルを用いて構造解析が出来ることをご理解いただき、これからも放射光をより積極的に活用されることを期待いたします。